

旭ヶ丘

学園だより

No.14

編集・発行

高知高等学校

高知高等学校PTA

令和3年12月24日発行

「至誠」



校長 永野 隆史

本学園は、戦後の混乱期を経て、生徒急増を受け手狭になった、北新町（高知市下知地区）からこの地、旭ヶ丘に1979（昭和32）年移転が完了し、来年度は65年を経ることになります。この丘に校舎を構えて以来、幼稚園、小学校、そして短期大学と校舎が建ち、県内は無数のこと西日本でも有数の教育一貫校としての陣容が整いました。本校前身の城東中学高等学校時代から、手塩にかけて学校づくりに邁進してきた、初代学園長川島源司先生は、この学び舎を「高知学園」として一貫通貫した教育理念と教育方針（ひとつの柱となる基本的な考え）のもとに学園の発展を願いました。教育の在り方をめぐっては、国の方針もなかなか定まらぬこの時期に、先生はどのように言っています。

「終戦後のあらゆる方面の混乱から、いまだに、そのふれすぎとゆきすぎが正道にかえってない今日、

国家の興隆と個人の幸福は、教育がその根源でなくてはなりません。本学園におきましては、教育の常道を歩むために、如何なることをなすにも、すべて至誠をもつて事に当るという人間修養の根幹の精神を生徒の基本精神としております。」

（「川島源司傳」180頁 高知学園校友会 昭和53年3月12日刊 下線引用者）

私も、本校着任以来、本校が最も大切にしてきた人づくりの指針のことは「至誠」（しせい）の大切さを皆さんに訴え、そのうえで「文武不岐」（ぶんぶふき）の実践を強調してきましたが、今日は「至誠」についてももう少し触れてみたいと思います。

このことばの源流は、中国戦国時代の思想家、儒学者、孟子（紀元前372? - 289?）の残したものと

伝えられています。孟子と云えば孔子とならび、古典や中国史の学習で、すでに皆さんご存じの歴史上の著名人ですが、教科書の記載以上に、この人物に興味を持たれている方は少ないのではと想像しますがどうでしょうか。

孟子の遺した考えやことば、その弟子たちがまとめている『離婁』（りろう）という書物の上巻に、「指導的立場にある者には、誠がなければ人は信頼してついてこないでしょう」という意の前文があり、後にこう続きます。読んでみてください。

「是故誠者、天之道也。思誠者、人之道也。至誠而不動者、未之有也。不誠、未有能動者也。」

是（こ）の故（ゆえ）に誠は天の道なり。誠を思うは、人の道なり。至誠にして動かざる者は、未（いま）だ之（こ）れ有らざるなり。誠ならずして、未だ能（よ）く動かす者は有らざるなり。

- ・ 是 故（それゆえ、それだから、こういうわけで）
- ・ 思 誠（誠をわが身に実現しようと思ひ努力すること）
- ・ 至 誠（この上なく誠実なこと、まごころ）
- ・ 不動者（感動しない人）
- ・ 未之有也（まだあったためしがない）
- ・ 不 誠（誠意を尽くさなくても）

・ 能動者（人を感動させることのできる人）
（参照 孟 漢文大系）
「こちらがこの上もない誠の心を尽くしても、感動しなかったという人はいまだあったためしはない。誠を尽くせば、人は必ず心動かされる。」と記されています。

吉田松陰（1830 - 1869 幕末の思想家、教育者）は、これを「至誠をもつて対すれば動かすことができるものはない。」（『講孟余話』）とし、誠意をつくせば、どんなことでも動かすことができる。逆に不誠実に対応すれば何も動かすことができない。無理だと思ふことも行動することが大切だ。「至誠」こそ全ての行動の根源だと言います。

この期に松陰と志を同じくし、動乱を生き抜いていった同志や松陰から薫陶を受けた人々は、その後の日本人の生き方に多大な影響を与えてきました。今もなお錆びつくことなく大切にされている「至誠」ということばは、単に他者に対する寛容さが先行する概念ではなく、むしろ自己の生き方に厳しい問いかけをしてくる矢のようなことばでもあるようです。

さて、川島校長は、日本人の精神を揺さぶるこの「至誠」の心を、人間修養の根幹の精神とし、生徒の基本精神と捉え、次のようなことばを残してくれています。

「至誠」をもつて事に当れば、必ず「正しい行いをするため、邪念を払いのける真の勇氣」と、「何事をなすにも、心を定めれば困難を切り拓く精神」が生まれまします。そうすると「他者が物事への挑戦を一度行うのであれば、自分は百度し、他者が十度行うのであれば、千度行う強い意志が生ま

れ」さらに、「今日の自分は昨日の自分ではなく、明日の自分は、今日の自分でない」姿となります。と話しています。

そのうえで、生徒は、日々、自己の課業（学び）ならびに生活を通じて、絶えず反復に努めれば、必ず「人に信頼される人となる」ことができます。そしてこのことが、「人に信頼される人物の育成」という「学園教育の重要な指針」になると説いています。

私が「至誠」を強調している理由もここにあります。
私立学校は建学の精神が非常に大切です。本校が長きに渡り歩んできたのも、このことばをとおりして、社会に信頼される人づくりに貢献してきたからにはかありま

せん。
しかしながら、伝統に胡座（あぐら）をかき、理念や精神を疎かにすると、たちまち学校は信用されなくなりまします。また、生徒の皆さんも、何のために、誰のために、どのように学んでいくのかも、ぼやけてしまします。私たち教員も同様に肝に銘じなければならぬと思います。
皆さんの将来は、皆さんの自身の志（こころざし）や夢をもとに、一人一人が切り拓いていかなくてはなりません。「至誠」を大切にしながら、学園生活の中で、自身自身の身体の上に、このことばを根づかせ、そう遠くない将来に備えて欲しいと念じます。

今年から、「至誠賞」（二頁に記載）というささやかな校長賞を設けました。すがすがしい行為がありがたいです。どの生徒も自己申告ではなく、関心した方々から学校に連絡があったものです。小さな善行や創意の積み重ねが本校の誇りと輝きになります。ありがとう。

令和3年度 「至誠賞」(校長表彰)

(11月末現在)

学年・組	氏 名	表彰区分	発生日	事 由
1年1組	山平 統己	善行	8月28日	夜間、高齢女性転倒を介抱、警察への連絡
1年2組	三枝 律彦	善行	8月28日	夜間、高齢女性転倒を介抱、警察への連絡
1年4組	間城 海月	善行	7月7日	登校中、列車中にて妊婦さんに対する親切行為
1年5組	尾仲 芽生	善行	6月23日	登校中、小学生の転倒怪我を応急措置
2年2組	金子 拓実	善行	8月28日	夜間、高齢女性転倒を介抱、警察への連絡
3年1組	結城 海斗	善行	10月19日	登校中、小学生の転倒を介抱、救急車手配
3年2組	中山 禅	善行	6月16日	登校中、他校生徒自転車転倒怪我を応急措置、救急車手配
3年5組	黒田 茱白	創意	10月1日	体育祭を「橘祭」と命名、全校生徒に支持される

PTA会長挨拶文



PTA会長 横山 公大

強い者、賢い者が
生き残るのではない。
変化できる者が生き残るのだ。

進化論で有名なダーウィンの名言です。ご存じの方も多いでしょう。今の時代を言葉で表すなら、まさにこの言葉ではないかと考えさせられます。

私たち保護者世代の学生時代と、現在の学生の環境は大きく様変わりしました。

昔の常識は今の非常識。昔の非常識は今の常識。

世界を震撼させているコロナ感染症の影響は、この先も永く歴史に刻まれる事態となっています。学生の皆さんにとっては、かけがえのない十代を大きな制限の中で過ごすこととなり、親として今の環境をこれほど不憫に感じたことはありません。

また、教職員の皆さんにとって

は、まさに変化に対応しなければならぬ事が、雪崩の如く押し寄せ、その対策に要する時間や知恵は計り知れないこととお察しいたします。

未曾有の事態になりながら最善を尽くされていることに深く感謝を申し上げます。

活躍の場は自らつくる

その一方で、ここ最近のクラブ活動の目覚ましい活躍は、暗いニュースが多い社会とは違い、保護者はもとより教職員の皆さん、また、高知県全体に対しても明るいニュースであり、様々な制限をされているこの状況下において、素晴らしい結果を残される立派な姿に、大きな感動をいただいています。朝刊を楽しみにされている保護者もきっと多いことでしょう。

また、昨年は、本校卒業生の栄枝裕貴君が阪神タイガースに入団

し歓喜に沸きましたが、その快挙に続き、本年は森木大智君が阪神タイガースから1位指名を獲得されました。同級生、在校生、野球部の皆さんにとっても自慢の友人先輩であることは間違いありません。日本での活躍はもちろんですが、世界に羽ばたき大活躍されることを楽しみにしております。

PTAについて

この数年議論を重ねてきました支部につきましては、各支部役員の皆さんのご協力のもと、時代にあった形に編成されました。様々な葛藤があったことは想像に難くありません。皆さんのご決断に心から感謝を申し上げます。今までの支部活動にご尽力をいただいた皆さんの意志や想いを引き継ぎ、今後もPTAのより良い在り方について議論ができればと考えております。

いじめについて

私がPTA活動を通じ特に重視していることは、いじめ問題です。1000人もの人が集まる場所ですので、いじめ問題がゼロであることは難しいでしょう。

全国で発生するいじめ問題の多くは、学校や教育委員会の隠蔽体質と、過剰に加害者の未来を守ら

なければならぬという保身的な対応が問題を長期化し、被害者が守られていない状況に全国の保護者も憤りを感じていると思います。いじめに対する姿勢は、何よりも当事者意識です。もし我が子と考えると加害被害、どちらになろうとも親として真剣に問題解決に向かわなければなりません。

いじめは起こりうるものと捉え、万が一発生した場合はPTAとしても毅然と向き合い、絶対に隠蔽させない姿勢と、被害者を必ず守る覚悟を持ち、学校、校長をはじめ教職員の皆さんとともに解決に向かいたいと考えます。

第二回橘祭の開催によせて

多くの卒業生が熱望してきた高知高校体育祭。卒業生の情報によると昭和50年代はじ頃からなかったとお聞きました。その間、歴代の生徒会長や生徒会、また、PTAが幾度となく再開に向けて動かれたようでしたがその願いは届かず。後輩たちに夢を託したと伺いました。長年の活動の中、本年度生徒会長、田中聖久君をはじめ生徒会のご尽力もあり、本年見事に積年の願いが実を結びました。第一回という冠からも今後の継続の意思を感じます。生徒たちの願いを叶えていただいた校長はじめ教職員の皆さんに心から御礼を申し上げます。

昨年引き続き、PTA活動にも制限がありますが、限られた時間を無駄にすることなく、子どもたちの学園生活がより良いものになるよう精一杯努めてまいります。

いよいよ年末を迎えますが、皆さんにおかれましてもご自愛をいただき、良い年を迎えられますこと、並びにコロナの一日も早い終息を心からお祈りいたします。

進路・特進部

部長 福島 敏

21年度大学入試は新入試開始、「大学入学共通テスト（以下、共通テスト）」の導入、さらには新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）拡大が影響するなど、例年になくものとなりました。22年度入試もコロナの影響下での入試となります。また、受験生の数が減少した21年度入試よりもさらに減少します。18歳人口の減少のうえに、21年度入試で私立大学が合格者数を増やしたことで浪人生の数が減少したことが影響しています。私立大学では22年度入試において入学定員増員が32大学あり、学部新設に伴う入学定員の増員分と合わせて最大約3千の増員となる見込みで、私立大学入試の競争緩和が進む形になります。そのため国公立大学並びに私立大学において昨年度より難関校へのチャレ

ンジ層が増加しています。

2年目となる共通テストは、初年度と出題の方向性が変わる可能性があります。昨年の平均点が高かったため、2年目の難易度は上がると予想され、平均点が下がる可能性が高いと思われます。共通テストの平均点が下がるとう地方国公立大学や中堅私立大学においてチャレンジ層からの流入受験が増えることとなります。本校受験生にとって厳しくなる可能性がりますので、しっかりと力をつけて備えておきたいものです。

入試が大きく変わって2年目ということもあり、大学の入試変更は比較的落ち着いています。以下、主な動きを確認していきます。

「主体性評価」

「思考力・表現力評価」

を重視する動き

国公立大学では一般選抜における「主体性評価」、「思考力・表現力評価」を重視する動きが広がりをみせています。

「主体性評価」では面接を実施する大学が増えており、22年度入試では、前期日程の全募集区分の内、約25%が面接を実施します。主に教員養成系、医療系の学部で導入が進んでおり、こうした学部では志望理由書など志願者本人が記載する資料を活用する動きもみられます。調査書を用いた主体性評価は、21年度入試で大きく広がるとみられましたが、コロナの影響で活用を見送る大学が相次ぎました。22年度入試でも引き続き活用を見送る大学があります。25年度からスタートする新課程入試では、調査書は簡素化の方向で検討されていることもあり、今後の主体性評価は志願者本人に直接問うものが主流となりそうです。

「思考力・表現力評価」を重視する動きでは、新たに小論文・総合問題を課す大学のほか、個別試験で課す科目を増やす動きがみられます。22年度入試では名古屋大（農・前）で2次試験において新たに国語を課すなど、難関大でも重視する動きは広がっています。

「共通テスト」のスケジュール

22年度の共通テストは本試験（22年1月15日・16日）と追試験（1月29日・30日）を設定しています。昨年度に設定されていた特例追試験はありません。ちなみに昨年の特例追試験の受験者は全国で1名でした。本来、本試験の1週間後に実施される追試験が、コロナ等に罹患した志願者の受験機会を確保するため、2週間後に設定されました。追試験の会場は、今回も全47都道府県に設置されます。

コロナ感染症に対する

入試の配慮

共通テストの追試験の日程が変更されたことで、国公立大学一般選抜の出願期間は2日延長され、2月4日までとなりました。

文部科学省は各大学にも試験実施上の配慮として、コロナ等に罹患した受験生への受験機会を確保するため、「2月1日以降に実施する個別学力検査には追試験または振替受験のいずれかを実施すること」を求めています。

国公立大学では追試験実施ケースのほか、入試のオンライン化、地方試験会場での実施取りやめ、入試日程の分散といった動きがみられます。入試直前に教科・科目の変更や2次試験を中止すると

いった大きな変更はないとみられますが、感染状況によっては、今後実施方法を変更する大学が出てくる可能性があります。大学からの発信情報には注意し、本番直前に慌てないよう準備しておくことが大事です。

私立大学では、コロナ禍の支援策として受験料無料化や入試のオンライン化などの動きがみられます。22年度入試では千葉工業大学や麗澤大学などが一部の方式で受験料を無料にしています。また、国際基督教大学の一般選抜B方式では面接をオンラインで実施、常葉大学（教育）の一部専攻では音楽実技に代えて録画DVDを提出する録画審査にするなど、コロナの感染拡大予防の動きもみられます。また、受験機会確保のための振替受験のケースが多くみられます。

冬休み中の進路に関する行事

- 高1・2冬期講座
12月17・20・22日
（4限終了後）
12月27・28日
- 高3共通テスト模試
12月17・18日
- 高3共通テスト直前対策講座
12月20・22・27・28日
1月4・6日
- 高2県外予備校冬期講習
（河合塾大阪校）
12月25日・29日（4泊5日）

高知高校運動部の主な成績

男子サッカー部

県 体 第3位
秋季大会兼全国高校サッカー選手権高知県大会
優勝（全国高校サッカー選手権大会出場）

女子サッカー部

県 体 優 勝
四国大会 準優勝
皇后杯高知予選 準優勝
選手権高知予選 優 勝
選手権四国予選 第3位

水泳部

女子個人
県 体 50m自由形 第3位 前田 凜
春季大会 50m平泳ぎ 第3位 前田 凜
選手権 400m個人メドレー 第3位 藤本保都希
50m背泳ぎ 第3位 前田 凜

野球部

春季四国地区高等学校野球大会高知県予選 優 勝
選手権大会 第2位 芝澤 結仁 準優勝
秋季四国地区高等学校野球大会高知県予選 準優勝
春季四国地区高等学校野球大会 優 勝
秋季四国地区高等学校野球大会 優 勝

男子バレーボール部

県 体 優 勝
（全国高等学校総合体育大会出場）
四国大会 第3位
選手権大会高知県予選 優 勝
（全日本バレーボール高等学校選手権出場）

女子バレーボール部

春季大会 優 勝
県 体 優 勝
（全国高等学校総合体育大会 出場）
四国大会 準優勝
選手権大会高知県予選 優 勝
（全日本バレーボール高等学校選手権出場）

ライフル射撃部

男子団体
春季選手権大会 ビーム・ライフル少年男子
立射60発競技（団体の部） 優 勝 浦田、森光、本田
ビーム・ライフル少年男子
立射40発競技（団体の部） 準優勝 浦田、森光、本田
秋季選手権大会 ビーム・ライフル少年男子
立射60発競技（団体の部） 優 勝 森光、本田、徳増

男子個人					
春季選手権大会	10mライフル少年男子立射60発競技	優 勝	浦田	歩武	
	10mライフル少年男子立射60発競技	準優勝	森光	亮太	
県 体	ビーム・ライフル少年男子立射60発競技	優 勝	森光	亮太	
	10mライフル少年男子立射60発競技	優 勝	浦田	歩武	
	10mライフル少年男子立射60発競技	準優勝	森光	亮太	
秋季選手権大会	ビーム・ライフル少年男子立射60発競技	優 勝	森光	亮太	
	ビーム・ライフル少年男子立射60発競技	第3位	本田	恵太	
	10mライフル少年男子立射60発競技	優 勝	森光	亮太	
	ビーム・ピストル少年男子60発競技	準優勝	徳増	陸人	
選手権大会	ビーム・ライフル少年男子立射60発競技	優 勝	浦田	歩武	
	ビーム・ピストル少年男子60発競技	準優勝	徳増	陸人	

女子個人					
春季選手権大会	ビーム・ピストル少年女子60発競技	準優勝	山崎	一葉	
県 体	ビーム・ピストル少年女子60発競技	準優勝	山崎	一葉	
	ビーム・ピストル少年女子60発競技	第3位	西内	彩有	
秋季選手権大会	ビーム・ピストル少年女子60発競技	準優勝	山崎	一葉	
高知県選手権大会	ビーム・ピストル少年女子60発競技	優 勝	山崎	一葉	

弓道部

男子団体
春季大会 優勝

県 体 準優勝
秋季大会 準優勝
冬季大会兼選抜大会予選 優勝

男子個人
春季大会 2位 川添真寛
冬季大会兼選抜大会予選 3位 篠塚竜二

新体操部

春季選手権大会
個人総合 優勝 森岡 花梨
フープの部 優勝 森岡 花梨
リボンの部 優勝 森岡 花梨
県 体
個人総合 優勝 森岡 花梨
個人総合 3位 山田 彩乃
フープの部 優勝 森岡 花梨
2位 山田 彩乃
リボンの部 優勝 森岡 花梨
3位 山田 彩乃

剣道部

男子団体

剣道春季大会 優勝
県 体 優勝（インターハイ出場）
四国高等学校剣道選手権大会
剣道秋季新人大会 優勝

男子個人
剣道春季大会
弘田陸人（優勝） 酒井武志（2位） 山崎皓暁（3位）
県 体 弘田陸人（優勝） 川田楓音（2位） 寺村峻我（3位） 山崎皓暁（3位）
インターハイ 男子個人 出場 弘田陸人、川田楓音
剣道秋季新人大会
上杉惟心（優勝） 川田楓音（2位） 酒井武志（3位） 宇賀大朔（3位）

女子団体
剣道春季大会 優勝
県 体 優勝（インターハイ出場）
国体四国ブロック予選 少年女子団体 優勝

女子個人
剣道春季大会 永野楓佳（優勝） 楠岡美月（3位）間城咲羅（3位）
県 体 永野楓佳（優勝） 楠岡美月（2位） 楠岡晴琉（3位）
剣道秋季新人大会 楠岡晴琉（2位） 大石花園（3位）

陸上部

男子個人
県 体 8種競技 第2位 矢野 諒太
棒高跳 第2位 武智 裕貴
棒高跳 優 勝 武智 裕貴
春野オープン記念 棒高跳 第2位 堀部 尚人
三段跳 第2位 小嶋 一獅
4X400mR 第3位
浜田、大崎、横山、武智

女子個人
県 体 走高跳 優 勝 恒石 望乃
棒高跳 優 勝 鈴木 夢空
走幅跳 第2位 恒石 望乃
三段跳 第2位 恒石 望乃
走高跳 第3位 恒石 望乃
メドレーリレー 第3位
山中、鈴木、谷脇、恒石

県高校新人大会 棒高跳 優 勝 鈴木 夢空
三段跳 第2位 恒石 望乃
三段跳 第3位 鈴木 夢空

春野オープン記念 棒高跳 優 勝 鈴木 夢空
走高跳 第2位 恒石 望乃
三段跳 第2位 恒石 望乃
三段跳 第3位 鈴木 夢空
走幅跳 第3位 恒石 望乃
400mH 第2位 山中 彩那
100mH 第3位 山中 彩那
やり投 第3位 谷脇未美由
4X100mR 第3位
山中、鈴木、恒石、谷脇

三重国体 女子少年B走幅跳（出場内定）恒石望乃
U16陸上競技大会 女子三段跳 2位 恒石望乃

テニス部

男子
県 体
団体 準優勝 掛橋、小野、市川、金子、西原
ダブルス 第3位 市川、西原
選手権ジュニアの部
18歳以下ダブルス 第3位 市川、金子
16歳以下シングルス 優 勝 西原
16歳以下ダブルス 準優勝 友成、西原
青山整形杯夏季ジュニアテニストーナメント
シングルス 準優勝 市川
第3位 金子
ダブルス 準優勝 市川、金子
高校新人戦団体 準優勝 市川、金子、友成、
天野、森本、堅田、西原、前田、岡林
シングルス 準優勝 西原
ダブルス 準優勝 市川、西原
ダブルス 第3位 金子、友成

女子
県 体
団体 優 勝
個人

シングルス 準優勝 平野礼菜
三 位 杉浦里奈
ダブルス 準優勝 杉浦里奈、平野礼菜
選手権大会ジュニアの部
U18シングルス 優 勝 杉浦里奈
準優勝岡本菜歩
U18ダブルス 優 勝 岡本菜歩、杉浦里奈
U16シングルス 準優勝 平野礼菜
U16ダブルス 優 勝 平野礼菜、恩地葉音

少林寺拳法部

個人
県 体 間崎 優華 女子単独演武 第2位
坂上 蓮 男子単独演武 第2位
四国大会 坂上 蓮 男子規定単独演武 第1位
少林寺拳法夏季大会 間崎 優華 女子単独演武 第2位

体操部

男子
県 体
個人総合 優 勝 前田 侑汰
第2位 芝澤 結仁
種目別：全種目 優 勝 前田 侑汰
あん馬・つり輪・平行棒・鉄棒 第2位 芝澤 結仁
ゆか 第3位 芝澤 結仁

女子
県 体
団体総合 優 勝 横山、ウヤル、中澤桃、土居内
個人総合 優 勝 中澤 桃花
第2位 土居内花乃
第3位 ウヤルなずる

種目別：跳馬中澤 桃花（優勝）、中澤 花心（第2位）、
土居内花乃（第3位）段違い平行棒 土居内花乃（優勝）、
中澤 桃花（第2位）、ウヤルなずる（第3位）
平均台 中澤 花心（優勝）、土居内花乃（第2位）、
中澤 桃花（第3位）
ゆか ウヤルなずる（優勝）、横山 咲桜（第2位）、
中澤 桃花 （第3位）

柔道部

男子団体
県 体 準優勝
新人戦 準優勝

男子個人					
県 体	60kg級	優 勝	谷	希龍	
	66kg級	優 勝	谷川	琉玖	
	73kg級	第3位	鈴木	一ノ介	
	81kg級	準優勝	坂本	晃一郎	
	90kg級	準優勝	島	慶汰	
	90kg級	第3位	西本	亮介	
	100kg級	優 勝	西川	兼生	
	100kg級	第3位	吉永	圭	
	100kg超級	優 勝	瀧田	廉斗	
	100kg超級	準優勝	松下	創大	
新人戦	66kg級	優 勝	谷川	琉玖	
	73kg級	第3位	筒井	政行	
	81kg級	優 勝	坂本	晃一郎	
	81kg級	第3位	鈴木	一ノ介・梶津 勇仁	
	90kg級	優 勝	島	慶汰	
	90kg級	準優勝	西本	亮介	
	90kg級	第3位	西村	歩純	
	100kg級	準優勝	高橋	裕大	
	100kg級	第3位	北村	泰紘	
	100kg超級	優 勝	瀧田	廉斗	
	73kg級	準優勝	谷川	琉玖	
	73kg級	第3位	鈴木	一ノ介	
	90kg級	準優勝	坂本	晃一郎	

女子団体
県 体 優 勝
新人戦 準優勝

女子個人
県 体 48kg級 優 勝 西村 奏星
48kg級 準優勝 久保 鼓巴音
52kg級 優 勝 大黒 楓佳
57kg級 準優勝 吉川 日奈子
新人戦 48kg級 優 勝 西村 奏星
48kg級 準優勝 久保 鼓巴音

ゴルフ部

個人
ジュニア選手権 優 勝 小島彼呂徒
第3位 上村 玲人
第3位 岸本 千空
国体高知県二次選考会 第2位 岸本 千空
ゴルフ選手権 出 場 岸本 千空
ひろでん選手権 出 場 小島彼呂徒
四国ジュニア選手権 第3位 岸本 千空